

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(1)- (ア)	具体的 な取組	認知症サポーターになろう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症に関する正しい知識を有し、認知症の人やその家族のよき理解者となる認知症サポーターを増やし、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、平成18年度から、区民や地域団体・事業所等を対象とし、地域住民の要請等に基づき、地域包括支援センター等が企画して、認知症サポーター養成講座を開催している。 これに加え、東区では、若い世代から認知症を知り理解を深めることが重要であるため、小中高等学校の児童生徒や大学生を対象とした講座を年1回、各学校において開催している。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症サポーター養成講座の実施校数			○目標値の考え方 2019年度の実績として小学校1校、私学の中高一貫校1校が未実施のため、2020年度までに小中高全ての学校での実施を目標とする。その後も全ての小中高の学校での実施を継続するとともに、特別支援校等の実施を検討する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	23校 小学校 11/12 中学校 6/6 高等学校 4/5 大学 2/2	25校 小学校 12/12 中学校 6/6 高等学校 5/5 大学 2/2	9校 小学校 2/12 中学校 4/6 高等学校 2/5 大学 1/2	36%
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症による臨時休校のため各学校の授業に大幅な遅れが生じ、養成講座の開催時間を確保することが難しい状況にあったため、5月に小学校長会及び中学校長会で可能な範囲での開催協力を依頼した。また、昨年度開催した高校と大学に対して個別に連絡し、可能な範囲での開催協力を依頼した。 その結果、早稲田小学校、尾長小学校、福木中学校、温品中学校、牛田中学校、二葉中学校、安芸高等学校、広島商業高等学校及び比治山大学の9校で実施した。また、2月3日に東区地域女性団体連合会と共催での講座を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期した。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
25校 小学校 12/12 中学校 6/6 高等学校 5/5 大学 2/2	小学校長会及び中学校長会等で開催について説明し、開催協力を依頼する。地域包括支援センターと連携し、感染症対策を講じた上での安全な開催に向けた支援を行う。また、東区地域女性団体連合会と共催での講座を、2021年8月4日に開催する。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の再拡大により、講座の開催ができなかった学校があるため、安心して開催できるよう、感染症対策を講じた開催方法の提案や学校との個別協議を行っていく。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(1)-(イ)	具体的な取組	認知症支援あいカフェを広めよう！			担当課	地域支援あい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応						
事業目的・内容 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、平成26年度より認知症の人とその家族、地域団体、医師・社会福祉士・保健師等が、概ね月1回程度、地域の集会所や病院などで気軽に集い交流を図る認知症支援あいカフェを開催している。専門職による相談・助言により、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。						
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。						
○指標 認知症支援あいカフェの設置地区数				○目標値の考え方 2019年度実績が8地区社協エリアであったため、2020年度目標を9地区とし、2024年度までに全地区設置とする。		
○目標値と進捗状況						
		2020				
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	8/13 地区	9/13 地区	10/13 地区	200%		
				新規目標数：1地区、年度末実績2地区		
○2020年度の取組内容等 4月当初は新型コロナウイルス感染症の影響により、既に設置している8地区10か所の認知症支援あいカフェの全てが休止の状況であったため、5月に安全に実施するための新型コロナウイルス感染症予防対策の留意点をまとめたチラシを作成し、広報活動や指導を行った。 コロナ禍であったが、7月に早稲田地区の「みち草カフェ」、10月に温品地区の「温品きんさいカフェ」の2か所が新規に開設し、10地区12か所となった。 9月4日には「認知症支援あいカフェ店長さん会議」を開催して、再開に向けた工夫等に関する意見交換を行い、12月までに新規2か所を含め4か所が再開した。1月には、感染症の再拡大により、12か所全てが休止したが、3月には、5か所が再開している。 3月から、温品地区で新たに温品学区社会福祉協議会と広島銀行温品支店が連携して開設する「間所支援あいカフェ」の立ち上げ支援を開始している。						
○2021年度の目標値と取組方針等						
目標値	取組方針等					
10/13 地区	未設置地区3か所（牛田・中山・矢賀）にアプローチしていく。 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、認知症支援あいカフェ再開に向けての支援を行う。					
○取組上の課題等 認知症支援あいカフェの会場は、施設や病院も多く、感染症予防のために、会場が利用できない状況がある。今後の活動再開に際しては、地域団体の協力を得て、会場やスタッフの調整を図る等の工夫を行い、感染症予防対策を講じた上で、安全に開催していく。						
○備考						

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(2)	具体的な取組	いきいき百歳体操に取り組みよう！			担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進						
事業目的・内容 誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進めるため、高齢者が気軽に通える身近な地域の集会所等で、いきいき百歳体操等を行う「介護予防拠点」を平成29年度から整備している。						
○課題と対応 介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。						
○指標 拠点数と参加者数				○目標値の考え方		
○目標値と進捗状況				広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方（2025年度までに高齢者の1割が参加）を踏まえ、2025年度の東区の高齢者人口約31,000人のうち、1割の3,100人の参加を目標とし、拠点数については、1拠点あたりの参加者数を20人として設定している。 なお、2026年度以降については、次期プランに併せて作成する。		
年度	2019 実績	2020				
		目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	73 拠点 1,685人	99 拠点 1,980人	97 拠点 2,276人	200%		
新規目標数：295人、年度末実績591人						
○2020年度の実績内容等 新型コロナウイルス感染症の影響により、4月には全ての活動を休止した。6月上旬に、感染症予防対策を講じて安全に実施するための留意点をまとめたチラシを作成し、広報活動や指導を行った。その後、感染対策を講じた上で活動が再開し、6月には50%が、9月末には約84%の拠点が再開した。 また、12月には、高齢者いきいき活動ポイント事業におけるタブレット端末の導入先である地区社協に対し、オンライン通いの場アプリの普及啓発のためのチラシを配付し、自宅のできる体操や脳トレの紹介を行った。12月の感染症の再拡大により、ほとんどの拠点が活動を休止したが、2月の集中対策期間終了後、徐々に再開しており、3月末時点での拠点再開数は90拠点（93%）である。						
○2021年度の目標値と取組方針等						
目標値	取組方針等					
110 拠点 2,204人	いきいき百歳体操の活動に併せて、多様な介護予防事業につながる取組を支援する。また、地域の良い取組を他の地区へ紹介することで、好事例の横展開を図っていく。					
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大予防のために活動自粛していた高齢者にうつ傾向・フレイル（疾病や加齢に伴う心身機能の低下）の兆候が見られるため、虚弱高齢者を早期に発見し、適切に支援につなぐ必要がある。今後は、高齢者の介護予防の活動として、室内でのいきいき百歳体操だけでなく、室外でのウォーキング等の多様な取組を支援していく。						
○備考						

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-③	具体的な取組	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (3) 地域ぐるみの子育て支援																	
事業目的・内容 子育て中の親子が地域で孤立しないよう、子育て支援ボランティアや民生委員児童委員が中心となり、月に1回程度、公民館や集会所等で子育て親子が気軽に集い交流できる地域子育てオープンスペースを開催している。																	
○課題と対応 子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。																	
○指標 地域の子育てオープンスペースの参加者数			○目標値の考え方 2018年度の参加者が2,712人(16か所)であったため、2020年度目標を2,900人とし、毎年度50人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>2,712人</td> <td>2,900人</td> <td>450人</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	2,712人	2,900人	450人	16%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	2,712人	2,900人	450人	16%													
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月まで休止していた子育てオープンスペースを6月から徐々に再開し、12月初旬には、17か所中9か所が再開していた。しかし、再び12月14日から全ての子育てオープンスペースが休止となり、2月8日以降に7か所が再開した。 子育てオープンスペース等が休止期間中に新設したオンラインによる交流の場では、週1回、臨床心理士や歯科衛生士等による育児講座や子育て中の親同士が交流できる「オンラインおしゃべり広場」を42回開催し、316人が参加した。 また、12月4日に「子育て支援者情報交換会」を開催し、コロナ禍での安全な開催について情報交換をした。																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,950人</td> <td>支援者を対象とした研修会や情報交換会を実施し、安全に開催できるよう支援する。 子育てオープンスペースの新規立ち上げについて地域団体等と協議する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2,950人	支援者を対象とした研修会や情報交換会を実施し、安全に開催できるよう支援する。 子育てオープンスペースの新規立ち上げについて地域団体等と協議する。									
目標値	取組方針等																
2,950人	支援者を対象とした研修会や情報交換会を実施し、安全に開催できるよう支援する。 子育てオープンスペースの新規立ち上げについて地域団体等と協議する。																
○取組上の課題等 地域の高齢者が運営者となって活動している場が多く、なかなか再開できない状況にある。感染対策を講じながら、子育て中の親子が交流する場を広げていく。																	
○備考																	

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(4)-(ア)	具体的な取組	「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 高齢者、子ども、障害者などすべての人々が「住みなれた地域で安心して暮らすことができる」地域共生社会の実現を目指し、平成31年4月に「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を設置し、その取組の一環として、地域団体の活動をまとめた「東区地域支えあいリスト」を作成した。 子育て中の親子や高齢者、障害児・者が地域で通える場所やボランティアバンク等の生活支援の情報を、日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストで掲載している。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 地域支えあいリストの掲載件数			○目標値の考え方 2019年度の掲載件数の296件をベースにして、今後いきいき百歳体操と認知症支えあいカフェの実施団体の増加を年12件～17件見込んでいる。 なお、2026年度以降については、2025年度に作成する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	296件	313件	326件	176%
			新規目標数：17件、年度末実績：30件	
○2020年度取組内容等 9月のリスト更新に向けて、5月の「東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」の実務者協議で、地域包括支援センター及び東区社会福祉協議会に、リストデータの更新について依頼した。 6月に、地区社会福祉協議会の代表者にリストの照会を文書依頼するとともに、地域支えあい課においても情報収集を行い、「地域の通いの場」として、新たに「こども食堂（地域食堂）」の項目（3件）を追加した。 9月に、区内の関係団体や公民館への配付やホームページへの掲載を行い、更新作業を完了した。 なお、7月には、新たに区内19か所の郵便局に「東区地域支えあいリスト」を設置した。				
○2021年度目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
325件	<ul style="list-style-type: none"> ・東区支えあいリストの更新及び広報 ・東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議の開催 			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、通いの場の新規立ち上げは難しい状況にあるが、有償ボランティア等の新たな掲載情報について情報収集を行っていく。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(4)-(イ)	具体的な取組	医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 誰もが、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるためには、医療・介護ネットワーク（医療介護関係者）と介護予防・生活支援ネットワーク（地域団体）の有機的な連携を進める必要がある。このため、「認知症支えあいカフェ」への医療介護関係者による支援や、地域団体の研修会等への医療介護関係者による講師派遣等を行う。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 医療介護関係者と地域団体が連携した地区数			○目標値の考え方 2020年度から2地区社協エリアで開始し、毎年度2地区増やし、2025年度13地区全ての地区で実施することとする。	
○目標値と進捗状況				
	2019 実績	2020		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	—	2/13 地区	4/13 地区	200%
○2020年度の実績内容等 認知症支えあいカフェの医療介護関係者の立ち上げ支援として、早稲田地区「早稲田みち草カフェ」（7月開始）と温品地区「温品きんさいカフェ」（10月開始）の開始に当たって、医師や介護関係者が講師となった勉強会を開催した。 11月から12月にかけて、3か所（温品・戸坂・尾長）の高齢者の通いの場に薬剤師を派遣し、健康教育を実施した（牛田新町学区は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4/13 地区	認知症支えあいカフェの立ち上げに当たり、医療介護関係者が支援を行えるよう調整する。 8か所（4圏域各2か所）の高齢者の通いの場に、薬剤師の派遣を行う。			
○取組上の課題等 認知症支えあいカフェや地域の通いの場については、新型コロナウイルス感染症の感染の影響により中止や再開を繰り返しているため、感染対策を講じながら安全に開催できるよう支援するとともに、地域団体と医療介護関係者との連携した取組を支援する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(4)-(ウ)	具体的な取組	地域共生社会の実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 公民館や集会所等で、子ども、高齢者、障害者などを対象とした多世代交流の場を設置し、茶話会や季節の行事等を定期的で開催することで、協働による相乗効果や新たな担い手の発掘など、効率的な取組に発展させる。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 多世代交流の場の開催地区数			○目標値の考え方 2018年は1地区（戸坂地区）の地区社協のエリアで開催しており、2019年までは年1地区（尾長地区）ずつ、2020年からは年2地区ずつ増やし、2025年度には13か所全ての地区で開催することとする。	
○目標値と進捗状況				
	2019 実績	2020		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2/13 地区	4/13 地区	4/13 地区	100%
○2020年度の実績内容等 新型コロナウイルス感染症の影響により、多世代交流の場となっている通いの場等が中止となったため、子育て世帯と高齢者の交流の場は開催できなかった。 感染症の影響により、収益が減少した障害者支援事業所の販路の拡大と障害者と地域住民の交流を目的に、広島市と郵便局の包括的連携協定に基づき、来客数の多い2か所の郵便局において自主製品の販売を実施した（6月～広島戸坂新町郵便局、7月～グラノード広島郵便局）。自主製品のクオリティの高さを知ってもらうことで固定客が増え販売も定着し、障害者の労働意欲の向上や、郵便局員や地域住民との交流が図れた。 10月には、エキキターレのイベントにおいて、主催者（広島テレビ）が障害者支援事業所3か所の自主製品を購入して参加賞として来場者に配付し、地域住民の障害者自立支援事業所への理解を深めた。				
※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6/13 地区	地域団体や関係機関と協議を重ねながら、多世代交流や障害者支援につながる活動を支援するとともに、好事例の紹介を行い、横展開を図っていく。			
○取組上の課題等 地域団体の活動が再休止しているため、安全な再開に向けて支援していくとともに、障害者支援事業所と地域団体や関係機関との連携した取組を支援する。				
○備考				

(参考) 地区別の取組内容

地区	取組内容		備考
戸坂	いきいき百歳体操「くるめ木健康体操」と乳幼児健康相談に来所した親子が交流		2020年4月から休止
戸坂城山	2か所の郵便局において、障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」の自主製品の販売を実施	戸坂新町郵便局	2020年度新規（2021年度も継続予定）
		グラノード広島郵便局	
尾長	いきいき百歳体操「片河クリスタル」の会場で、障害者支援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売		2020年2月から再開
	エキキターレのイベント（10月3・4日開催）で主催者（広島テレビ）が障害者支援事業所3か所（「つくしんぼ作業所」「きつつき作業所」「はぐくみの里」）の自主製品を購入し、参加賞として配付		2020年度新規
中山	子育てオープンスペース「中山子育ての集い」で、障害者支援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売		2020年度新規（2019年度に試行実施し、2020年度からの本格実施が決定したが、4月から休止）

アクションプラン 検証シート（2020 年度実績）

項目番号 2-(5)-(ア)	具体的な取組	元気じゃ健診を受けよう！			担当課	地域支えあい課													
<p>まちづくりの方向性及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防</p>																			
<p>事業目的・内容 区民の健康の保持増進、健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の早期発見等を目的に、元気じゃ健診（40歳～74歳の方；特定健康診査、75歳の方；健康診査）を実施しているが、受診者が少ない。このため、平成31年度から社会福祉協議会と連携し、「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、地域ぐるみで住民同士が呼び掛け合って健診受診ができるよう、モデル地区を定めて巡回健診のPRチラシ作成・配布をする等、受診率向上に向けた取組を行っている。</p>																			
<p>○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。</p>																			
<p>○指標 特定健康診査受診率（対象；広島市国民健康保険に加入する40歳～74歳の者）</p>				<p>○目標値の考え方 目標値は、「広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画【第3期：2018年度～2023年度】」の2023年度の目標値50%を基に設定している。 <参考>平成30年度特定健康診査受診率（令和元年7月末時点暫定値）：広島市25.2%、東区24.7%></p>															
<p>○目標値と進捗状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>20.4%</td> <td>35%</td> <td>※18.5% (3月末暫定値)</td> <td>53%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2021年11月頃に2020年度実績（確定値）が判明する。</p>							年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	20.4%	35%	※18.5% (3月末暫定値)	53%
年度	2019 実績	2020																	
		目標値	実績	進捗率															
年度毎の 目標値	20.4%	35%	※18.5% (3月末暫定値)	53%															
<p>○2020年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月の集団検診は中止となり、6月から再開したが、受診控えがあり、受診率が低くなった。郵便局や公民館に元気じゃ健診のチラシを設置するとともに、9月にFacebookで受診勧奨を呼び掛けた。また、戸坂ともいきネット「お役立ち情報」に掲載されている理美容店や商店（計44店舗）に元気じゃ健診のチラシを配付し受診勧奨を行った。 1月から区役所と区総合福祉センター1階モニターでコロナ禍でも健診を受診するよう啓発動画を流している。また、2月3日に東区地域女性団体連合会と共催で「健診サポーター養成講座」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期した。</p>																			
<p>○2021年度の目標値と取組方針等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">40%</td> <td>8月に「健診サポーター養成講座」を東区地域女性団体連合会と共催で実施し、地区担当保健師が地域団体と連携して、地域ぐるみの受診率向上を図る取組を推進する。 また、Facebookでの発信や、いきいき百歳体操でのチラシ配付など、受診率向上に向けた情報を発信する。</td> </tr> </tbody> </table>							目標値	取組方針等	40%	8月に「健診サポーター養成講座」を東区地域女性団体連合会と共催で実施し、地区担当保健師が地域団体と連携して、地域ぐるみの受診率向上を図る取組を推進する。 また、Facebookでの発信や、いきいき百歳体操でのチラシ配付など、受診率向上に向けた情報を発信する。									
目標値	取組方針等																		
40%	8月に「健診サポーター養成講座」を東区地域女性団体連合会と共催で実施し、地区担当保健師が地域団体と連携して、地域ぐるみの受診率向上を図る取組を推進する。 また、Facebookでの発信や、いきいき百歳体操でのチラシ配付など、受診率向上に向けた情報を発信する。																		
<p>○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、集団検診の中止や受診控えが起こることから、受診率の低下が懸念される。</p>																			
<p>○備考</p>																			

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(5)-(イ)	具体的な取組	野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 住民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、野菜摂取の大切さ、栄養バランスを意識した食事について理解を深めることを目的として、健康教室の開催、個別相談等を行っている。平成 26 年度からは区役所食堂において、健康に関する情報の発信、健康相談（月 1 回）、「元気じゃけん定食」の提供支援（月 2 回）等を通じた啓発を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 地元野菜を活用したレシピの数			○目標値の考え方 すこやか食生活推進リーダー※1 及び食生活改善推進員※2 と連携し、毎年、夏野菜と冬野菜を使ったレシピを 1 品ずつ計 2 品開発する。 ※1 地域で健康増進・栄養改善活動を行う本市登録の管理栄養士又は栄養士 ※2 本市実施の食生活改善推進員養成講座を修了し登録したボランティア	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	—	2 品/年	2 品/年	100%
○2020 年度の実績等 すこやか食生活推進リーダーと地元野菜を活用したレシピ案について協議を行い、若い世代の摂取量が少ない魚を含めたレシピの開発を行うこととした。 レシピの選定及び試作を重ね、「魚と一緒に野菜を食べよう」をテーマとしたレシピを完成させ、11 月 20 日に Facebook に掲載するとともに、12 月に地域包括支援センター便りに掲載し、町内会の回覧等により区民へ情報提供した。また、区役所の職員食堂及び常設オープンスペース、乳幼児健診でもレシピの配付を行うことで、働く世代や子育て世代への啓発を実施した。				
○2021 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2 品/年	新規レシピを作成するとともに、過去に作成したレシピを含めて、Facebook やひろしま子育て応援アプリ、地域包括支援センター便り等を通じて情報提供する。 おもてなしの区推進プロジェクト会議（※）において、効果的な情報発信について検討する。			
○取組上の課題等 食生活の改善に向けた啓発活動は重要であるが、若い世代に対する情報発信が十分でないため、効果的な情報発信の方法を検討する。				
○備考 （※）東区役所の若手職員が構成員となり、来庁する区民等に東区の魅力を感じてもらえるよう、東区役所の環境整備や効果的な情報発信等について企画提案を行う会議				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(5)- (ウ)	具 体的 な 取 組	東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！			担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防																			
事業目的・内容 区民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、健康ウォーキングに取り組むきっかけづくりを目的に、平成18年度から各地区公民館等で健康ウォーキング教室を開催し、ウォーキングの普及啓発に取り組んでいる。平成19年度からは、年1回各地区のウォーキングコースを活用した「健康ウォーキングのつどい」を東区公衆衛生推進協議会及び、東区スポーツセンターと共催で実施している。																			
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。																			
○指標 「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合					○目標値の考え方 2018年度、2019年度の60歳未満参加者割合（アンケート回答者より算出）は、それぞれ3%、6%であった。2020年度は、10%以上、2022年度は15%以上、2025年度は20%以上とする。														
○目標値と進捗状況																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>6%</td> <td>10%以上</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	6%	10%以上	0%	0%
年度	2019 実績	2020																	
		目標値	実績	進捗率															
年度毎の 目標値	6%	10%以上	0%	0%															
○2020年度の取組内容等 東区公衆衛生推進協議会及び東区スポーツセンターと協議の上、10月31日に予定していた「健康ウォーキングのつどい」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 10月、11月に温品公民館と東区スポーツセンター、地域支えあい課が共催で上温品学区ウォーキング教室を開催し、自主グループ化に向けた支援をしている。 また、温品学区社会福祉協議会がコロナ禍においてもできる活動として、「高齢者いきいき活動ポイント事業」を活用し、週1回、自宅等から岩谷寺（温品学区社会福祉協議会活動拠点）までウォーキングするという取組を開始した。取組が口コミで広がり、毎回100人を超える参加者がある等、新たな地域のつながりが生まれた。また、移転したばかりの拠点を知ってもらう良い機会となった。さらに、温品学区の取組を好事例として、他の地域へ紹介した。																			
○2021年度の目標値と取組方針等																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">10%以上</td> <td>「健康ウォーキングのつどい」の開催内容や方法などについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意し、東区公衆衛生推進協議会等と検討する。 温品学区社会福祉協議会の取組など、良い取組を他の地区に紹介し、横展開を図る。</td> </tr> </tbody> </table>							目標値	取組方針等	10%以上	「健康ウォーキングのつどい」の開催内容や方法などについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意し、東区公衆衛生推進協議会等と検討する。 温品学区社会福祉協議会の取組など、良い取組を他の地区に紹介し、横展開を図る。									
目標値	取組方針等																		
10%以上	「健康ウォーキングのつどい」の開催内容や方法などについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意し、東区公衆衛生推進協議会等と検討する。 温品学区社会福祉協議会の取組など、良い取組を他の地区に紹介し、横展開を図る。																		
○取組上の課題等 生活習慣病予防のために運動習慣づくりは大切であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動性が低下した人が増加しているのではないかとと思われる。コロナ禍においても、運動習慣が定着できるよう取り組む。																			
○備考																			